

令和6年度(令和5年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	TOSOH PARK永源山(永源山公園)			所管課	公園花とみどり課
所在地	周南市大字富田2355-2				☎ 22-8431
設置年月日	昭和60年11月1日				
設置目的	本公園は、昭和45年旧新南陽市の市制施行(昭和45年11月)を記念して計画された公園で、緑豊かな自然と山頂からの眺めも素晴らしいことから、市民のレクリエーションやコミュニティ活動の場、ひいては市民の「ふるさと」としての心のシンボルとなることを願ってつくられたものです。山頂にはオランダ風車「ゆめ風車」があり、ランドマークとして新南陽地区の顔となっています。				
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開園面積18.0ha ・主な構成施設 市制記念広場、母と子の広場、展望広場、散策広場、休憩広場、国際交流広場、駐車場(3ヶ所)、多目的広場、夢虫基地、周南市郷土美術資料館、ゆめ風車、プール(流水プール、25mプール、スライダープール、幼児プール)等 				
指定管理者	名称	グリーン環境・シンコースポーツ共同事業体			
	代表者	代表団体 グリーン環境協同組合 理事長 山本 正			
	所在地	周南市大字馬神1336番地			
	連絡先	電話	0834-63-7899	E-mail	greenkk@m2.ccsnet.ne.jp
		ホームページアドレス	https://www.tosoh-park-eigenzan.com		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日			年数	5年間
募集方法	公募		料金制度	無	
指定管理の主な業務	公園内植栽管理業務、電気工作物保安管理業務、消防施設点検業務、電気設備維持管理業務、水道施設管理業務、機械警備業務、駐車場維持管理業務、ゆめ風車維持管理業務(ストリートオルガン管理点検業務含む)、プール施設管理業務(運営含む)他				

2. 施設の運営状況

目標管理	目標指標名		年度	R5年度	R6年度
	①	年間利用者数(人)	目標値	330,000	330,000
			実績値	380,332	—
②		目標値			
		実績値		—	

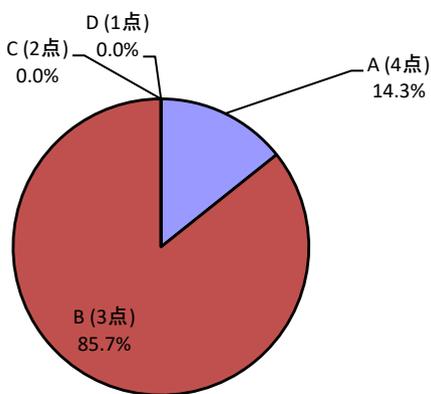
指定管理業務に係る収支状況	項目		収支計画額(円)	実績額(円)
	収入	指定管理料	58,666,960	54,270,756
		利用料金収入		
		その他の収入		
		計	58,666,960	54,270,756
	支出	人件費	5,500,000	5,577,900
		物件費	16,248,960	11,382,377
		委託料	32,482,000	32,753,167
		その他	4,436,000	4,543,803
		計	58,666,960	54,257,247
参考	使用料収入	4,890,000	7,250,625	
	自主事業収入			
	自主事業経費			

令和6年度(令和5年度分) 指定管理者評価表【評価】

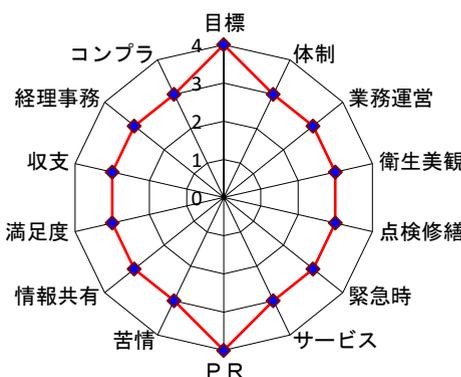
施設名	TOSOH PARK永源山(永源山公園)	
指定管理者名	グリーン環境・シンコースポーツ共同事業体	
評価項目	評価事項・不適切事項等	評価
目標の達成状況	目標値は公園全体の年間利用者数としており、目標値は達成している。令和5年度は新型コロナが5類に移行したことにより、人数制限等が緩和されたため、つつじ・ゆめ風車まつり、プール運営をコロナ禍前のように行うことができ、年間利用者数増加に繋がった。	A
体制・人事	常駐職員2名が確保されている。うち1名は、公園管理運営士の資格を有している。プール開設時には、総括責任者1名及び必要な従事者を確保している。	B
業務の運営	協定書や事業契約等に基づき適切に実施され、利用者ニーズを把握し施設の管理運営に反映させている。	B
施設の維持管理(衛生・美観)	定期的に公園内の清掃、花・樹木の手入れ等を実施され、適切に行われている。	B
施設の維持管理(点検・修繕等)	園内施設設備は定期的な点検を実施し、補修や修繕等、安全性に留意し、適切な維持管理がされている。	B
緊急時の対応	緊急時対応マニュアル及び緊急連絡表を整備し、目につくところに置き、緊急時すぐに対応できるよう体制を整えている。令和5年度は、熊の目撃情報や痕跡が見つかったため、公園の閉鎖等の対応を行った。また、プール開設期間の事故発生時においても、適切に対応できた。	B
サービス向上 自主事業	プール利用者が水中メガネ等を忘れたと相談が多いことから、プール関連物品の販売を行ったり、パークスポーツ(モルック、クッブ、ヨガ等)、あおぞらおはなし会等を開催し、公園利用者の増加を図った。	B
PR・情報提供	X(旧Twitter)・Instagramでイベント情報、天候、日々の活動報告、施設情報などを来園者等に発信した。フォロワー数は着実に伸びており、Instagramは1200名、X(旧Twitter)は400名となっている。LINE公式アカウントの作成し、主催イベントの参加申し込みを行えるようにした。	A
苦情(要望・意見)への対応	「来園者からの要望・苦情等調書」を整備し、情報を共有化し、改善に活用するとともに、再発防止に努めている。	B
情報共有	2ヶ月1回の定例会以外にも、随時、市職員と顔を合わせた情報共有を行い、緊急時・苦情発生時等直ちに連絡が出来る。熊の目撃情報及び痕跡が見つかった時にも、情報共有に努めた。	B
利用者満足度調査	イベント時やアンケートボックスの設置等により、随時、受け付けている。アンケート調査結果では、スタッフ対応、花・樹木の手入れ、施設の安全性等において「非常に満足」「おおむね満足」の回答が8割を占めており、利用者ニーズを的確に把握し、サービスの向上に努めている。	B
収支状況	指定管理料の範囲内で運営されており、支出状況も当初計画と乖離せず、安定運営ができています。	B
経理事務の状況	経理事務は適切に行われ、使用料の徴収・管理も適切に行われている。	B
コンプライアンス	個人情報の取得・管理は適切に行われている。指定管理業務に係る法令等を遵守する体制が取られており、プール開設前には必要な研修を行っている。協定書等で定める提出物を適切に提出している。	B
協定書や事業計画等に基づき適切に実施されている。令和5年度は新型コロナが5類に移行したため、人数制限等が緩和されたため、つつじ・ゆめ風車まつり、プール運営をコロナ禍前のように行うことができた。5月13日に熊の目撃情報、15日に熊の痕跡が見つかり、安全確保で13日と15~31日を休園とした際も、パトロール等を行い、安全の確認に努めた。		総合評価 B
		平均点 3.1

※4点満点

評価結果の割合



項目別評価結果



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。